

令和5年度環境活動報告

部局名： 医学系研究科・医学部

教育	<p>・医学科 テュートリアル「地域・産業保健コース(4年生)」等において、健康と環境について幅広く、より深い知識・理解が身につくよう教育、指導を行った。また、今年度より、「初年次セミナー(1年生)」において、「環境」をテーマとした講義を実施し、環境意識の啓発に努めた。</p> <p>・看護学科 保健師課程「産業保健(3年生)」等において、職業に従事する人、児童生徒、一般住民における健康と環境について幅広く、より深い知識・理解が身につくよう教育、指導を行った。</p> <p>・産業衛生学分野に専任の独立助教を採用し、上記教育プログラムの一層の充実を図った。</p>
研究	<p>・医学科 「複数の疾患リスクに関わる初経・閉経年齢を規定する生活環境因子の同定とその寄与評価に冠する研究」において、学童におけるコホートでは両親の喫煙状態を、地域住民からなるコホートでは配偶者の喫煙状態を調査項目に置き、初経・閉経年齢を規定する生活習慣・環境因子の同定に関する調査を行った。</p> <p>・看護学科 「妊娠期から取り組む産後の再喫煙防止を目的とした禁煙サポートプログラムの効果検証に関する研究」において、先行研究で開発した産後の再喫煙を防止するために妊娠・出産・育児期までの継続した禁煙サポートプログラムの効果検証・改善をし、家庭内における乳幼児の両親からの受動喫煙の防止に取り組んだ。</p>
社会連携	<p>・法医学分野の教員1名が岐阜県の公害審査会委員に、疫学・予防医学分野の教員1名が同じく自然環境保全審議会委員及び環境影響評価審査会委員に委嘱され、広く自らの学識・見識を提供することで、地域における公害や環境に係る諸問題の解決に寄与した。</p>
キャンパスプラン	<p>・ISO14001に関して、医学科および看護学科教授会における研修の実施及び各構成員に環境方針周知カードを配布することにより積極的な啓発を行い、また教育訓練再確認シートにより各自の取り組み状況を確認した。</p> <p>・毎週1回職場巡視を行い、研究室における薬品の管理等、安全・衛生面の遵守及び適切な運用がなされるよう指導を行った。</p> <p>・年2回実施する「クリーンキャンパス」に積極的な参加を促し、環境美化と意識の向上を図った。</p> <p>・電力消費量の節減のため、引き続き医学部本館の空調機の集中管理を行うとともに、医学部本館内の照明器具を順次LED器具へ更新し、設備の省エネルギー・長寿命化を進めた。</p> <p>・ごみの分別回収を徹底するとともに、リサイクルにも考慮した廃棄物処理を行った。</p>